

第42回 全日本バレーボール小学生大会（令和4年度） 全国大会開催要項

- 主催後援 公益財団法人 日本バレーボール協会／日本小学生バレーボール連盟／読売新聞社
開催地バレーボール協会
スポーツ庁／公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団／東京都／
神奈川県／埼玉県教育委員会／千葉県教育委員会／相模原市教育委員会／財団法人相模
原市スポーツ協会 / 報知新聞社
- 協賛 デサントジャパン株式会社／ゼビオグループ／三井住友信託銀行株式会社／
株式会社関電工
- 協力 株式会社プレナス(ほっともっと)
株式会社 ミカサ／株式会社 モルテン
- オフィシャルボール主 管 第42回 全日本バレーボール小学生大会実行委員会
1. 大会の趣旨 (1) 教育的配慮の下に、バレーボールを通じて全国の児童の親睦と交流を図る。
(2) バレーボールによる小学生の体力向上とたくましい意欲の醸成に努める。
(3) 小学生から正しいバレーボールの基本技術とチームプレーを体得し、楽しい
ゲームができるよう指導する。
2. 開催期間 令和4年8月9日（火）～12日（金）
3. 会場 東京体育館、町田市立総合体育館、大田区総合体育館、サイデン化学アリーナ(さいたま
市記念総合体育館)、相模原ギオンアリーナ(相模原市立総合体育館)
バルドラール浦安アリーナ(浦安市総合体育館)
4. 開会式 令和4年8月9日（火） 午後2時 東京体育館
5. 大会日程 8月 9日（火） 開会式・監督ミーティング(オンライン)
※開場、チーム受付 午前12時
8月10日（水） 予選 第一日目・監督ミーティング(オンライン)
8月11日（木） 予選 第二日目・監督ミーティング(オンライン)
8月12日（金） 決勝トーナメント（準々決勝、準決勝、決勝）・表彰式
※1 開会式は無観客で、各チーム代表選手3名のみが参加すること。
閉会式は行わず、表彰式を実施する。
※2 参加チームの各会場入館人数
選手12名・スタッフ3名・チーム関係者15名以内のみの入館とする
※3 決勝トーナメントに進めないチームは対戦がすべて終了した時点でチームごとに
解散となる。但し、補助役員の有無等確認の上、大会本部に連絡の上解散するこ
と。
※4 緊急の場合を除いてチームスタッフの途中交代は原則として認めない。
6. 参加資格 (1) 令和4年4月1日に12歳未満の者で、令和4年5月1日現在、国、公、私立の小
学校および各種学校に在学している者。
(2) 公益財団法人 日本バレーボール協会加盟団体登録規定に基づき、令和4年4月1
日以降、都道府県のブロック大会（地区・支部）申し込み締め切り日までに、公益財
団法人 日本バレーボール協会—MRSに登録を済ませていること。
※この都道府県大会中、他チームから登録し、その後移籍した者については、これ
を認めない。
(3) 都道府県大会の結果、都道府県バレーボール協会長が推薦したチームであること。
(4) 参加チーム数
北海道は南北に分け、男子・女子・男女混合各1チーム、他は男子・女子・男女
混合各1チームとする。
7. 競技規則 2022年度 公益財団法人 日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。
ただし、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。

8. 競技方法 都道府県代表の男・女・混合の各48チームを6ブロックに分ける。一日目は事前にオンラインによる公開抽選を行い、近県が対戦しないようにブロックからチームを抽出し、3チームずつ16組に分ける。各組3チームによる予選リーグ戦を行う。二日目は、一日目終了後、大会本部で各カテゴリー別にオンラインによる公開抽選(参加チームにURL割当)を行い、各組の1位チーム・他組の2位チーム・他組の3位チームによる3チームのリーグ戦を8ブロックで行う。そして、各ブロックの二組の1位同士が対戦し、その勝者(男・女・混合各8チーム=ベスト8)が三日目に準々決勝からの決勝トーナメント戦に進出する。この抽選は二日目終了後大会本部で各カテゴリー別にオンラインによる公開抽選(該当チームにURL割当)でフリー抽選で行う。全て3セットマッチとし、3位決定戦は行わない。
9. チーム編成 (1) チーム編成は、監督・コーチ・マネージャー各1名と選手12名の計15名以内とする。
(2) 監督は成人であること。又、ベンチスタッフの1名以上は公益財団法人日本スポーツ協会認定バレーボールのコーチ1・コーチ2・コーチ3・コーチ4(旧日体協の指導員・上級指導員・コーチ・上級コーチ)のいずれかの資格を持っている者でなければならない。又、試合時には証明書等を胸にさげていなければならない。
※監督、コーチ、マネージャーは2チームを兼任することはできない。
(3) 成人のベンチスタッフは、日常子どもたちの健全育成を目指して指導に当たっていると実行委員会が認めた者。体罰、暴力、暴言、セクシャルハラスメント等、子どもを指導するものとして不適切な行為を行っている者の出場は認めない。
(4) ベンチスタッフは、JVA-MRSに登録され、かつ、宣誓書に署名した者に限る。(MRSに役員登録している場合もチームスタッフとして登録が必要。)
(5) 大会に出場するチームは、監督、コーチ、マネージャーは二重登録とされない限り変更できる。選手については12名とするが、都道府県大会と同じ選手で構成し、同一団体であっても、病気やけがなどの特別な事情がない限り交代はできない。
※特別な事情による選手の交代を希望する場合は、必ず大会事務局に連絡の上、承認を得ること。尚、交代を希望する場合は、必ず同一団体に登録済みの選手であること。
(6) チーム名は、都道府県大会時のものと同一名とし、変更はしないこと。
(7) 他都道府県在住であって、移籍または新規登録した選手はベンチには3分の1以内とする。また、コート上には2名以内とする。監督は試合前に、他都道府県からの登録選手の番号を審判員と確認しておくこと。
10. 使用球 公益財団法人日本バレーボール協会が公認する人工皮革軽量4号カラーボール「男子・混合がミカサボール(V400W-L)/女子がモルテンボール(V4M5000-L)」(円周62~64cm重量200~220g)を使用する。※ボールの内気圧については、6人制競技規則による。
11. 競技服装 (1) 選手の背番号は1~99番とするが、1~12番が望ましい。
ユニフォームは2着以上(健康管理・安全面等から)用意のこと。
※各組で1位になったチームは、その日3試合の対戦が予定されるので留意すること。
(2) ユニフォームの背番号の色は、ルールに則って地の色と対照的な色を使用し、誰もが見え易いものにする。こと。
(3) 監督、コーチ、マネージャーの服装は短パン、Tシャツは不可とし、監督、コーチ、マネージャー章を各チーム側で用意し、必ず左胸に付けること。ただし、小学生がベンチスタッフとして入る場合、短パン、Tシャツを認める。Tシャツ・短パンの色は他のベンチスタッフと異なってもよい。
(4) 男女混合チームのユニフォームは、男女で違うユニフォームを着用し、番号が重ならないようにする。ただし、違うユニフォームを用意できない場合は、同一ユニフォームでも構わないが、男子・女子のいずれかが指定された識別用バンドを腕か足首に付けるか、ソックスの長さや色、ハチマキなどで区別できるようにすること。
12. 参加料 ¥10,000-
13. 参加申込方法 都道府県大会の結果、各都道府県バレーボール協会に推薦されたチームは、下記の書類等を申し込み締め切り日までに、大会事務局へ送付すること。
(1) 全国大会に参加するチームが用意する書類は次のとおりとする。
①全国大会参加申込書(必ず全項目を明確に記入すること)

- ②チームの集合写真（プログラムに使用、プラカード入りが望ましい）
- ③公益財団法人日本バレーボール協会－MR Sチーム加入選手一覧（ブロック大会・地区大会参加時のもの）
- ④チームアンケート（主催報道機関より配布のもの）

(2) 提出方法

- ①～③については、Excel データのまま、メールで事務局へ送信すること。
- ④については主催報道機関へ FAX 又は郵送にて送付のこと。
- ※①～③はプログラム作成上必須内容なので代表決定後速やかに送付すること。
- ※提出された名簿等は、本大会に関する目的以外は使用いたしません。

14. 参加申込締切日 令和4年6月12日（日）までに代表が決定したチームは、代表決定後10日以内に、令和4年6月26日（日）までに代表の決定したチームは、令和4年7月1日（金）必着で、それぞれ上記13により申し込むこと。
15. 組合せ 大会参加申込締切後、大会実行委員会で責任抽選（オンライン公開）を行う。抽選結果については、日小連のHPでご確認下さい。）
二日目の組合せは、一日目終了後、大会本部会議室において、オンラインによる公開抽選（参加チームにURL割当）を行いチームに知らせる。
尚、一日目に対戦したチーム同士が、二日目に対戦しないようにする。また、二日目までは、同一都道府県同士が対戦をしないように配慮する。三日目の組合せは、二日目終了後、大会本部で各カテゴリー別にオンラインによる公開抽選（該当チームにURL割当）で行う。決勝トーナメントは、完全フリー抽選とする。
16. チーム受付 令和4年8月9日（火）午前12時に開場し、チーム代表により受付を行う。
※開会式に参加する各チーム代表選手3名と引率1名以外は、会場に参集しないこと。
17. 監督会議 従前、開会式前に行っていた監督会議は実施しない。オンラインで行う監督ミーティングにて必要事項を周知する。
18. 表彰 男子・女子・男女混合の各1位から3位までを表彰する。
◇優勝チーム（男子・女子・男女混合各1）：優勝旗/日本協会杯/優勝カップ/デザート賞/金メダル/賞状
◇準優勝チーム（男子・女子・男女混合各1）：準優勝カップ/準優勝盾/銀メダル/賞状
◇第三位チーム（男子・女子・男女混合各2）：第三位盾/第三位盾/銅メダル/賞状
※準々決勝で敗者となったベスト8のチーム（男子・女子・男女混合各4チーム）を敢闘賞として表彰する。
19. 個人情報等について (1) 大会参加申込にかかわる主催者及び主催団体が取得した各種個人情報については、大会参加資格確認、大会運営上必要なプログラム構成及び作成・大会時のアナウンス・大会結果掲載にかかわること（表彰・ホームページ・大会報告書・報道関係・協賛各社への提供等）その他大会開催に必要な連絡等のみに使用する。
(2) 大会関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真、映像が新聞・雑誌及び関連ホームページ、インターネットによって配されることがあり、大会参加申込として申込書を提出した時点で、上記取扱いに関する承諾を得たものとして対応する。
20. その他 (1) 旅費：エントリー選手数の鉄道普通運賃(在来線) を実行委員会が補助する。(沖縄については、航空運賃の半額を補助する。)
※ベンチスタッフの補助はない。各自負担とする。
(2) 宿泊：別紙宿泊要項による(今年度より選手村廃止)
(3) 昼食：昼食については「ほっともっと弁当」を利用すること。
費用はチーム負担とする。申し込み方法等については別途連絡する。
(4) 傷害保険：選手・指導者は全員スポーツ傷害保険に必ず加入手続きを済ませておくこと。

- (5) 選手の健康については、指導者・保護者が十分注意をして出場させること。
- (6) 出場チームは、前もって「都道府県小連から全国大会参加の心構え」について指導を受け、その指導に則って全国大会に参加すること。
- (7) 熱中症対策として、本大会のテクニカルタイムアウトを以下のように設定する。
- ① 1～2セットはリードするチームが、7点目と14点目に達したときの2回、いずれも30秒間のテクニカルタイムアウトを適用する。
 - ② 3セット目はリードするチームが、8点目に達したときの1回とする。
 - ③ デュースが続く場合、1～2セットは両チームが25点に達したときに適用し、その後は両チームが7点ずつ積み重ねた段階で適用する。
また、3セット目は両チームが21点に達したときに適用し、その後は両チームが7点ずつ積み重ねた段階で適用する。
- (8) 新型コロナウイルス感染防止対策のため、別に定める『大会運営ガイドライン』・『感染対策マニュアル』を遵守するとともに、各チーム感染防止に努めること。
- (9) チームは大会受付において以下の書面を提出すること。出された書面は、感染が発生した場合に備えるため、大会本部にて大会終了後1ヶ月保管する。
- ① 大会一日目 大会参加承諾書（様式1）、大会前健康チェックシート（様式2）、大会当日健康チェックシート（様式3）
 - ② 大会二日目～大会最終日の 大会当日健康チェックシート（様式3）
- (10) チーム関係者（選手、スタッフ、引率含む）に発熱者が発生したら、速やかに大会本部へ連絡すること。
- (11) 全ての参加者は、大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、チーム代表者を通じて濃厚接触者の有無等について、所属都道府県小連事務局及び日本小学生バレーボール連盟事務局へ速やかに報告すること。また、感染症法に基づき保健所が把握するところとなるので、保健所の聴取に協力し、指示に従うこと。

22. 問い合わせ及び
関係書類送付先

第42回 全日本バレーボール小学生大会 全国大会 事務局
〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷1-8-3 志田ビル3階
TEL 03-5738-5391 FAX 03-5738-5392
MAIL : office@jeva-web.com

今年の大会テーマは

「乗り越え 進もう 想いは一つ !! 」 です。